





## 申13号 2023年度夏季手当等に関する申し入れ 第3回団体交渉を行う! ②

【組合】	【会社】
 <p>2.5ヶ月とした根拠は何か</p>	議論してきて社員の声を様々ないただき、受け止め、 <b>会社として出来得る最大限の回答</b> を示している
<p>プラス5万円の根拠は何か</p> <p>納得できる根拠を示すべきだ!</p>	社員一人ひとりのコロナ禍の3年間における奮闘と黒字達成への尽力、物価上昇等に対する生活実感を踏まえつつ、今後「モードチェンジ」に向けた一層のチャレンジを強く期待し、特に支給するものとしている
6月9日までの回答を求めていたが、早く回答した根拠は何か	社員の声も受け止めて、物価上昇に伴う生活実感もあった。会社として社員に対してなるべく早く回答を示したいという観点で本日回答を示した
支給日が昨年より1日早い6月27日となった根拠は何か	物価上昇等様々な意見があったことを踏まえ、なるべく早く支給したいという考えのもと、支給実務、システム関係なども踏まえて、少しでも早く <b>会社として出来得る最大限の回答</b>
黒字実現後にコロナ前の水準に戻すべきだと訴えてきた。黒字を達成した今、コロナ前に戻す考えはあるのか	コロナ前の支給月数を比べて判断するものではない。期末手当の考え方は変わらない。今回については <b>会社として出来得る最大限の回答</b> をしている
 <p>最大限の回答と述べるが、最大限である根拠は何か</p>	業績の動向や経営環境、また社員の意見、今後の期待などを勘案して月数などの今回の回答に至った

### 到底納得できる“根拠”にならない回答だ

この間の黒字化の達成ならびにコロナ禍の奮闘も含めて感謝すると述べ、社員の踏ん張りがあって今があると第2回交渉で回答していたが、示されたこの回答では納得できない! 奮闘、踏ん張りはどこに反映されているのか!

融合と連携の努力に感謝と言うが、その一方で一層の生産性向上を求められる。構造改革、収益拡大をして会社の成長につながって社員還元へと言われるが、一体どれだけ会社が成長すれば私たちに還元されるのか。職場の努力と回答が乖離している!

離職防止に向けて、仕事量に見合った賃金、安心して生活できる賃金が重要だと訴えてきた。この回答で人材流出に歯止めがかかると考えているのか!

コロナ禍の約3年間の奮闘に対する特別手当10万円を求めてきたが5万円であり、コロナ禍での奮闘以外の様々な理由が付けられていて、奮闘がどのように反映されているのかも分からず、納得いかない!

**私たちの主張  
職場の努力に  
報いてない!**

担う仕事が増える一方で、賃金が上がらないことにモチベーションが上がらない。仕事の負担が増えているにも関わらず納得がいかないという職場の声を聞いているのか!

この回答で、歴史的物価上昇に苦しむ家計への負担は解消できると考えているのか。安心して働くことができると考えているのか!

コロナ禍の約3年間、各職場でいまある技術で何処までできるのか、費用を絞りに絞って努力して、2027年度までにオペレーションコスト1,000億円削減が達成出来る見通しをつくってきた。その努力はどう加味されているのか!